

2019 年度 西南学院大学演劇部

夏公演候補作品

ベランダの上でつかまえて

石田 克騎

暗転の状態音楽がかかる舞台。
舞台上にはベランダが3つ。下手側の建物に2つ。上手側の1つ。
下手側の建物が女子寮。上手側の建物が男子寮。
下手から女子寮402号室、401号室、男子寮410号室。
401号室のベランダには女性が一人。
鳥の鳴き声とセミの鳴き声。そして風が吹いている。
音楽は外で流している音源のような音質になる。
女性が小さな声で歌っているようだ。風の音の方が大きい。
そこで男子寮410号室の扉が開く。川野はそれに気づきびっくり。
410号室に住む久保田は洗濯物の乾きを確認し、取り込む。
川野は久保田と軽くお辞儀程度の挨拶を交わす。
久保田は部屋の中へと戻る。
川野は曲に飽きてしまったのか、ラジカセを止める。
どこか悔しそうな表情。この状況を打開したいかのような。
風の音。そして隣の402号室のドアの鍵が開く音。
誰かが入ってくる。電気がつく部屋。
ベランダの戸が開く。402号室のベランダに岡本が登場。
ロング缶のチューハイを開けて飲み始める。

岡本 いやいや、今日は酒日和だねえ。天気も良いし、夏にしては涼しいし…ってあれ？

川野に気づく岡本。

岡本 は一なーちゃん。
川野 下の名前では呼ばないで。
岡本 いいじゃん、別に。
川野 下の名前では呼ばれるの嫌いなの、知ってるでしょ。
岡本 そりゃ知ってるけどさ。
川野 じゃあやめて。
岡本 はいはい。じゃあ、川野さん。
川野 なんですか、岡本さん。
岡本 誕生日おめでとう。
川野 …誕生日？
岡本 そう、誕生日!おめでとう!これで、大学4年生だから…22歳か!いやーおめでとう…

川野 …違うよ。
岡本 …え？
川野 違う。
岡本 …あーもしかして、今年で23歳？え、あんた浪人してたっけ…？
川野 だーかーら。…違うって。今日じゃない。
岡本 え？
川野 誕生日。
岡本 …あ、そうだっけ!？
川野 私の誕生日は明日。…4年連続4回目の間違い。
岡本 ああ、ごめんごめん。完全にこちらのミスだわ……あーせっかくサプライズで用意したのにな…

カーテンを少しめくる岡本。そこにはホールケーキ。川野は気づいていない。
2人を横切る風の音。

岡本 にしても…珍しいね。この時間にいるの。
川野 ああ。
岡本 就活は？
川野 昼に面接終わった。…きっとまたお祈り。
岡本 そっか…。
川野 いいよね。あんたはもう決まって。
岡本 まあ、実家だからね。家業家業…正直大学出た意味ーって感じだし。
川野 なのに出ていかないんだ。
岡本 え？
川野 この寮。
岡本 …まあ、単位ボロボロ落として、4年生なのに思いっきり授業残ってるからね。そりゃあんたみたいにフルで単位取れてたら出ていくけど…それにあんたが寂しがるから。

岡本は意地悪な表情。しかしその冗談に反応がなく、首を傾げる岡本。

岡本 …歌わないの？
川野 …え？
岡本 いや、歌。いっつも歌ってるじゃん。早く帰って来た時。なんかじゃかじゃかギターなんか持って。シンガーソングライター気取りで。もうなっちゃえばいいのに。シンガーソングライター。

川野 ああ今日は…そんな気分じゃないから。
岡本 ふーん…

再び無言。少しだけセミの鳴き声が聞こえる。
岡本、何か思い立ったように自分の部屋に戻る。
我関せずの川野。奥で電子レンジを回す音が聞こえる。
するとカーテンの隙間から顔を出す岡本。

岡本 痛んじゃわない?ラジカセ?
川野 え?
岡本 今日、夜に雨降るっぽいよ。
川野 …部屋の中に入るときに持って帰るから大丈夫。
岡本 今時珍しいね。CD ラジカセ。舞台の小道具くらいでしか使わないんじゃない?
川野 …そうかもね。

いつもと違う反応の川野に首をかしげる岡本。
電子レンジの「チーン」が聞こえ、すぐに取りに行く岡本。

岡本 おっと。

川野は変わらず空を眺めている。
皿を抱えて戻って来る岡本。

岡本 …今日の花火大丈夫かな。

作ってきたおつまみをかじる岡本。
その後、401号室のベランダに手を伸ばし、コンコンと皿を手すりに当てる。
おつまみを1つ貫う川野。
その後、岡本は手を戻し、おつまみをかじる。酒を一口あおる。

岡本 ねえ、そっち行っていい?
川野 え?
岡本 暇だから。
川野 ああ…別にいいけど。
岡本 やったぜ。ではでは。

チューハイを持って、部屋の中へと消える岡本。

川野 …ん?あ、鍵開けて来なくちゃ。

川野も部屋の中へ。

その刹那、男子寮 410 号室から久保田登場。洗濯物を干そうとしている。

そこに電話がかかってくる。

久保田 知らない番号だ。…もしもし?…稲田?…ああ!401号室の!?…どうしたの?…え?
今日…別に来て大丈夫だけど…どうしたの?…なんとなくて…まあいいけど…

すると岡本が自分の部屋から梯子を持って出て来る。

401号室のベランダの枠に梯子をかける岡本。安全確認。

岡本 よーっし。

久保田 !?…あ、いやなんでもない…うん、分かった。はい、それじゃあね…

岡本、梯子に足をかける。久保田は怪訝そうな顔でそれを見る。

岡本 よし、オッケー。よいしょっと…

梯子を使って 401 号室のベランダへの移動を始める岡本。

中腹くらいで久保田と目が合う岡本。

久保田 ど、どうも…

岡本 どうも。

さも当然かのように梯子を渡る岡本。久保田はそそくさと自分の部屋に戻る。

岡本 変な奴だな。

川野 鍵開けたのに全然来な…ってちょちょちょちょ!

梯子を揺らす川野。

岡本 え、ちょ危ない!危ない!

川野 え、何してるの!?
岡本 何って…あんたがこっちに来て良いつて言ったんでしょ!
川野 いや、言ったけどさ!…入り方どうにかなんない!?
岡本 え?
川野 なんでそんな泥棒みたいな入り方してくんの!?
岡本 泥棒ってまた…人聞きの悪い…
川野 だってそうでしょう!?
岡本 言っとくけど、あんたの留守中に、私ちよくちよくこうやって、家の中入ってるからね。
川野 ええ!?ちょ…不法侵入!…犯罪だよ?犯罪!
岡本 100も承知だよ。
川野 承知してそれ!?
岡本 うん。それでは。

401号室のベランダに近づく岡本。

川野 あ、まさかそれでうちの中にあるお金とか貴重品とかを…
岡本 してないしてないしてない。
川野 してないの?
岡本 むしろその逆だから。
川野 逆?
岡本 さあてここでクイズです!岡本さんは川野家に忍び込んで、一体何をしていますでしょうか!?次の3択からお答えください!
川野 3択…
岡本 選択肢①!…床にニスを塗って、勝手に耐久度をあげている。
川野 ええ!?

部屋を開けて確認する川野。床を確かめている。

岡本 選択肢②!

急いで戻って来る川野。

岡本 川野に読んでほしい本を勝手に置いて帰っている。
川野 あっ!

自分の部屋の中へと入る川野。
2冊の文庫本を持って出て来る。

川野 もしかしてこれって?!

岡本 さあどうでしょう…

川野 えー…もうなにしてんのー!

岡本 所謂、逆泥棒ね。

川野 しかもこれ…「絶対失敗しない恋愛術」と「自分磨きの15個のコツ」ってなんで自己啓発本ばかりなのよ。

岡本 ああ、私そういうの好きでよく読むから。

川野 何なのよ…ってことはコレ、あんたの古本じゃない。

岡本 選択肢③!…特に何をするでもなく、カーテンを閉めて全裸で佇んでいる。さあどれ!

川野 なによ、その選択肢。②でしょ?②。

岡本 正解は…全部!

川野 全部かよー!!よりによって全部

部屋の中へと崩れ落ちる川野。

川野 …全裸で佇んでるんだ…ああ床ピカピカ…

岡本 佇んでますし、4日かけてニスも塗ってます。そして本を置いて帰ってます。

川野 あああ。あの本だって…きっといつも餌あげてる、野良猫からの恩返しだと思っていたのに…

岡本 ああ、エントランスにいる?…ああ、猫の恩返し的なことだと思ってたんだ。

川野 恩返しにしては、品がアヴァンギャルドだなあとは思ってたけど…

少し無言の間。

すると踵を返すかのように梯子を持つ川野。

岡本 え、なに?

川野 ジブリ…

岡本 え?

川野 私ジブリ好きなのよー!!!

梯子を猛烈に揺らし始める川野。

岡本　　ちょ、危ない!危ない!
川野　　ジブリ好きの心、弄びあがってー!
岡本　　ちょ、だから危ないって!
川野　　忘れていたー!目を閉じてー!取り戻せ恋の歌ー!
岡本　　つじあやの止めて!揺らさないで!死んじゃうから!お隣さん死んじゃうから!…
隣人愛!
川野　　ああ、ごめん。

突然、梯子から離れる川野。

風が高い声をあげて、ビルの間を通る音。ぞっとする岡本。

岡本　　あ、あぶねえ…こんなところから落ちたら確実に…ってあれ?

椅子に座って、落ち込んでいる川野。

岡本　　ちょ、どうしたのよ、川野。かーわーの。大学4年生ー!法学部ー!彼氏なしー!
…なにをそんなに……あ、そういうことか。さては…花火だな。今年の!あん
たの!目標は!夏に彼氏と過ごすこと。でも去年、一昨年の夏と変わらず、彼氏
はいない。そして今日が花火大会でしかもすごく綺麗に見える場所に住んで
るのに!…一緒に見てくれる人がいない。それで落ち込んでるんでしょ!…うん。
そうだった、そうだった。川野、今年に入ってイメチェンしようと思って、髪
の色抜いたもんね。茶髪のつもりが買うやつ間違えてパツキン…だったね。し
かもそれにロングスカートのワンピースを合わせたもんだから、この寮であ
だ名「マリリン」になってたね。405号室のマリちゃんが複雑な顔してた。カ
ラコンもつけてみたね。つけたまま寝て、眼科送りになったよね。…神頼み
もしてたね。初詣でさ、太宰府天満宮に行ったとき。あんたさ、絵馬に思いっ
きり「彼氏欲しい」って書いてたね。学問の神様なのにね。そしてその絵馬「東
大合格」って書いてある絵馬の真横にかけてたね。…私引いた。神主さんも
引いてた。…多分菅原道真公も引いてたと思う。あとさ…

川野　　うるさいな!ちょっと静かにしてて!

岡本　　静かにしろって言われても…こんな状態ですし。

川野　　ああもう!じゃあいいから、早くこっち来て!こんなところ誰かに見られたら…

岡本　　え、もう見られたよ。

川野　　見られたの!?

岡本　　うん。向かいの男子寮の久保田君に。

川野　　ええ!?私がひそかに恋心を抱いている、向かいの男子寮410号室、経済学部3

年の久保田翔琉君に!?

岡本 …全部言ったねえ。

川野 はっ!?

恥ずかしがって顔を隠す川野。

岡本 いやいや。別に大丈夫だよ。私にあんたが久保田君のこと好きなの、知ってるわけだしさ。…でも、久保田君ねー。ゆるふわ系のイケメンで如何にも『良い人』って感じ?まあ恋愛ヴァージンの川野はなちゃんには、適切な選択なんじゃ…

もの凄い勢いで梯子を揺らす川野。

岡本 うわちょっと!危ない!危ない!ここ4階ですよ4階!隣人死んじゃいますよ!?隣人愛は!?

川野 もう死ねえー!!!!

尚も梯子を揺らす川野。騒ぐ岡本。

その騒ぎを聞きつけ、部屋から出て来る久保田。

久保田 あのーすいません。

岡本 あ。

動きを止める川野。

川野 くくくく!久保田君!?

久保田 あれ?どうして僕の名前を…

岡本 え、どうしてって…

川野 ちょ!岡本!シッシッ!

岡本の顔の前でシッシッ!とやる川野。

岡本 ちょ、だから危ない!危ないって!

久保田 どうかされたんですか?

川野 は、は、は、はい?

久保田 いえ、女性の叫び声が聞こえたので。

川野 いやその…なんでもありません。

久保田 …とてもなんでも無いように見えませんが…

岡本、間を見つけ、401号室のベランダへダイブ。

岡本 はっ!

岡本、久保田に向かって。

岡本 きらーん☆

久保田 大丈夫…みたいですね。すいません、思い違いでした。失礼します。

自分の部屋へと戻る久保田。

崩れ落ちる川野。

川野 終わった…完全に終わった私…久保田君に完全に『粗暴で強欲で隣人を転落死させようとした女』だと思われた…

岡本 んなオーバーな…

川野 サヨナラ…私の初恋…

岡本 初恋って…あ、それよりアレ。どーゆーことよ。

川野 アレ?

岡本 久保田君の反応。まるで相手の名前も知らないような関係性みたいな喋り方で……え、もしかして…そうなの?

川野 …実は。

岡本 え!?でもあんた、最近いい感じだって…

川野 いや、良い感じは良い感じなのよ!?相手は多分、私の名前も知らないし、気づいてないだろうと思うけど、あ、ほら。

部屋のカーテンに包まる川野。

川野 カーテンに包まって、こうやって、こうやって、久保田君の行動見てたら…なんか最近…いい感じだなあって。

岡本 まずいまずいまずい。あんたそれ…

川野 最近服もお洒落だし、髪型だって気を使って…香水なんかも最近はつけてるみたい。だから…久保田君は…いい感じだって…ね!あぁ!今日の花火大会…その美しさに合わせて、私が告白されちゃったら、どーしよー!!!

岡本 …川野。…もしかしてだけどさ、久保田君、彼女が…

静寂。

そしてカーテンを引きちぎる川野。

岡本 うわ、ちょ!カーテン!カーテン!

川野 やっぱりそうなんだ!そうだよねえ!だって急にお洒落になったもん!確証は取れないけどきつと!…ウワッ…

泣き始める川野。

慰める岡本。

岡本 好きって話あんでしたのに…こんな関係性だったんだ…逆になんで今まで気づかずに私もいれた……まあまあ川野。…ほら、女子だけの花火大会も、それぞれで乙じゃん。

川野 そんな…岡本と2人の花火大会なんて…4年連続4回目だよ…

岡本 ははは。そこで私は作戦を打っておるよ。

川野 作戦?

岡本 実はね、サークルで最近私に懐いてる女の後輩がいてね、そいつがここに来てみたいって言うから呼んで…

川野 結局女じゃん…それに岡本のみ知り合いとじゃ楽しめないよ…

岡本 まあそう言わないで。イイヤツだからさ。

川野 やだよ…岡本の友達って時点で、絶対変なやつだよ…てか、まだサークル行ってんの…?

岡本 井上って言うだけどさ。

川野 いいよ名前は…

泣き続ける川野。岡本、うろちょろしたのち。

岡本 まあまあかーわーの。泣くのやめなって。彼氏なんていつだって出来るんだから…

川野 出来ないよ…出来なかった結果がこれだよ…

岡本 まあそうだけどさ…

川野 きつとこのまま…誰とも付き合わないまま…2人で大学生活を終えるんだ…

岡本 うんそうかもしれないけど…って、その2人って私も含まれてる!?

川野 そうだよ。含まれてるよ。

岡本 ちょっとそれは見逃せないなー!さすがに怒るよ、私も。
川野 だってそうじゃん。
岡本 え?
川野 岡本もずっと彼氏いないじゃん。
岡本 いや…え…いるよ、彼氏くらい!

なぜか梯子の上に飛び戻る岡本。

川野 嘘でしょ。それ。
岡本 う、うそじゃないですー。ほんとにいますー。
川野 じゃあ、どんな人なのよ。
岡本 …え、あれです。イタリア人ですー。
川野 イタリア人?
岡本 ナンパされて付き合ったんですー。
川野 また変な嘘…
岡本 嘘じゃないですー。ローマ育ちですー。
川野 名前は?
岡本 え!?!…その…あ、岡本です。
川野 あんたの名前じゃないわよ。…その彼氏さんとやらの。

402号室のベランダに移る岡本。

岡本 …フィレンツェ。
川野 …それ地名じゃない?
岡本 …石川さんとか宮崎さんと同じですー。
川野 …で、じゃあその彼氏さんと、どんなことして遊んでるの?
岡本 え、その…その…サイゼリヤとか行ってます。
川野 …何をよく食べるの?
岡本 …エスカルゴとか。
川野 それ、フランス料理だけど。

ハッとした表情の岡本。

川野 もうやめようよ…お互い一緒。彼氏はいないし、出来たこともない。…男受けのいい恰好してるんだけどな…私。
岡本 まあ互いに頑張れば…

川野 ……どっかの誰かさんと違って、ずっと同じような服じゃないし、髪だってしっかりまとめてるし、わりかし…かわいいんだけどなあ…なんで彼氏が…

岡本 いや…いや…え、なんか私、Dis られてない？

川野 え…別に Dis ってなんかは…

岡本 Dis ってるよ。

川野 え、だって実際、あんまり恰好とかに気を使ってない感じだし。

岡本 私だって…気にしてるんだけど。

川野 でもさ…彼氏欲しいよねー。あー耳元で愛してるって囁かれない…そっと抱きしめられたい。

岡本 ねえ。

川野 あーあ。求めている人の元にどうして与えてくれないのかしら…神様っていじわる…

怒る岡本。しかし優しい声で。

岡本 川野一。

川野 ん？何、岡本…？

ホールケーキを投げる岡本。

無言で食らう川野。

岡本 このアホ川野!!!!フナムシに噛まれて死んじゃえー!!

電話がかかってくる。そして通話しながら 402 号室に消えていく。

岡本 はい、もしもし、井上?どしたの?あ、もうそろそろ着く?…ああ、じゃあこちらへん分かりにくいから迎えにいくわ。大学通りの郵便局あるでしょ?そこで待ってて…

ベランダの窓が閉まる音。ホールケーキが投げられた状態の川野。

一度、顔を拭う。

川野 ここまですること……ここまですることないだろ、コノヤロー!!お召し物台無しじゃコラー!…ああ…もう前見えないし…

目をつぶった状態で 401 号室に移動しようとする川野。

そこに怒鳴り声を聞きつけた久保田が登場。川野はベランダの音で反応。

川野 あ、今そこに誰かいます?…だったら窓がどっちかを…
久保田 あの…また僕の思い違いでしたね。すいません、失礼します。
川野 あ、ちょ、その角度から男の声ってことは久保田…

410号室に入る久保田。窓がピシヤリ。

川野 久保田くーん!!

410号室の方面に向かって走る川野。しかし前が見えないのでベランダの枠に衝突。

川野 グエッ!…久保田くーん!誤解なのー!これは隣人からやられて……

川野、移動。

川野 うー…最悪だ…絶対私、粗暴で強欲で顔に生クリームをつけて過ごす女だと思われた…あ、窓あった。

窓を開けて入る川野。

川野 うー顔だけ洗おう…そして死のう…

川野、401号室に入る。窓が閉まる。

すると突然、熊手状の紐（義賊がよく使うヤツ）が401号室のベランダの枠にかかる。男がにじりにじりと上がってくる。

塚本 うんしょ…うんしょ…
稲田 おーい。大丈夫かー?
塚本 あ、大丈夫ですー!

ベランダの目線の位置まで上がってくる男。

塚本 よし…とりあえず行けそうですー!
稲田 ばっかっ!…近づいたら大きな声を出すな!
塚本 あ、すいません…とりあえず、垂れ幕どうしましょう。

稲田 一旦両方とも上がって、それから考えよう。
塚本 でもこの作戦、いいんですかね…不法侵入な気が…あと、ここって…

402号室から出て来る川野。

川野 やっぱり死ぬのはよそう…良い事もきつといっぱいあるし…

見つめ合い、静寂が訪れる、川野と塚本。

二人 ギャー!!!
川野 いいことなかったー!…誰ですか!
塚本 いや、これはその…
川野 誰ですか!誰ですか!泥棒ですか!それとも痴漢…
塚本 あ、ちがちが違うんです!僕、部屋を間違えまして!稲田さん!こっちじゃな…こ
っち女子寮!
川野 どう間違えたらそうなるんですか!間違えたのは入り方ですか!?
塚本 いや、入り方もある意味間違えてますけど…男子寮と女子寮も…ちょ、本番は
ケアレスミスが出ま…あ!稲田さん、いねえ!あの人!
川野 とにかくどっかに!どっかに行って!どっかに!
塚本 ああすいません、落ち着いて!落ち着かれてください!…僕、降りますから。
川野 当然です。

移動する塚本。

塚本 では、失礼しますね。

ゆっくりと降りていく塚本。観客の視線からは消える。
川野は下を眺めている。

塚本 もう今3階くらいなんで、もう少しですー!

川野、かかっている熊手のような部分を外し、紐ごと落とす。
人が落ちる効果音。植え込みに落下。そして後ろを向く。

川野 よし、ちゃんと植え込みに落ちた音がした…生きてる生きてる…
稲田 塚本ー!大丈夫かー!

塚本 稲田さん!…なんで一旦逃げてる…

402号室の鍵を開ける音。川野はそれに反応する。
バツが悪そうな表情。
内容は聞き取れないが、401号室から会話は聞こえる。

岡本 んで、ここがベランダだから、花火が綺麗に見えるように…

岡本、川野を発見。急激にテンションが下がる。

岡本 なんか適当に用意しておいて。私は部屋で準備しておくから。

岡本、川野の顔を見ると、そのまま奥の部屋に消える。
ベランダの音、パシーン。

井上 りよ、了解っす…

井上、きよろきよろ。

井上 あれ…もしかして、喧嘩されてます?…川野さんですよ?

川野 …あなたが井上さん?

井上 あ、そうっす。井上。井上倫子。…川野さん、下の名前は…

川野 …はな。

井上 あ、はな。じゃあはなさんって呼び…

川野 川野でいい。

井上 …え?

川野 …下の名前、嫌いだから。…川野でいい。

井上 あ…ああ…なるほど。じゃ、じゃあ川野さん。…なにがあったんすか?

川野 ……別になんでも。

井上 いや、なんでもの空気感じゃないっすけど…

川野 井上さんには悪いけど…話したくない。

井上 そ、そうっすよねー。まあそーゆーの結構ありますもんね。

セミの鳴き声が聞こえる。

井上 こ、こういう時は、別な話をするに限るっす!話変えますね!

川野 え…うん。
井上 …えーっと何か盛り上がる話…あ、そうだ!川野さんは、彼氏とかいるんすか?
川野 話変わってねえよ。
井上 ええ!?!…あ、もしかして恋愛関係のことで岡本さんと揉めてた感じっすかね…

無反応の川野。

井上 そ、そうなんすね。…それは…それは…え、でもどうして恋愛関係で岡本さんと揉め…

突如、スポットライトが井上に当たる。

井上 はっ!…も、もしかして…川野さんと岡本さん…同じ男を取り合って…骨肉の争いに発展してるんじゃ…こっちはしてられないっす。岡本さんの話から聞くに、お二人は隣人を越えた関係。…壊すわけにはいかないっす!私が仲立ちするっす!

スポットが切れ、再び普通の舞台に。

川野 …そんなにしつこく聞くなら教えてあげる。私と岡本は…
井上 ああ!!皆まで言うな。…もう分かったっす。察したっすよ。
川野 え?…ふーん。勘良いのね。
井上 まあ一応、高校時代女子校だったんで。…いつ頃から…悪くなったんすか?
川野 いつ頃って…ほんの少し前よ。あなたが来る前。
井上 そんな最近っすか!?
川野 最近?…何か変?
井上 いや…別に変じゃ…つまりは同時に一目惚れ?お二方とも情熱的な恋愛をするタイプっすね。
川野 どうかした?
井上 いや、別に…あ、こういうことって初めてっすか?
川野 え?
井上 いや、こういうことで喧嘩するの。
川野 初めてなわけないでしょ。…互いに主張が強いし、こんなことばかりよ。
井上 こんなことばかり!?!…いや好みが似てる…というかそういう次元じゃない気もするっすけど…
川野 まあ、翌日には忘れてんだけどね。二人とも。

井上 忘れるんっすか!?

川野 え?...そうだけどね。

井上 軽いつすね...

川野 軽い?そうかな。...まあでも、こういうのってそんなもんじゃない?

井上 いや私、全然それより長いんで...

川野 長い?そんなに?

井上 はい、私の場合、相手が幼馴染だったんで、大体10年くらいは...

川野 10年!?...長くない?

井上 いや、普通そんなもんですって!

川野 えーそうかなー...だいぶギクシャクしてたんだね。

井上 あーギクシャクもしたっすね。...まあでも、最終的に付き合えたんで万々歳っす。

川野 ん?ん?ん?...え、井上さん、幼馴染と...

井上 あ、付き合ってるすよ。

川野 ...今も?

井上 はい。そうっす!

川野 ああ...そう。...井上さんってそっちの人なんだ...

井上 何か言ったっすか?

川野 いやいや別に...

井上 あ、そうだ...良かったら...教えてくださいか?

井上、川野の方のベランダに寄り、悪い顔。

川野 え、何を?

井上、きよろきよろしたのち。

井上 岡本さんとの争いに勝つ方法...

川野 え!?

井上 ちょっとそっち行くっすね。

井上、401号室へと梯子を使って移動。

井上 よ...っと。

川野 ...で、岡本に勝つ方法って...?

井上 おお、聞きたがるっすね。

川野 いや別にそんなには…
井上 強がりはないっすよ。岡本さんとの、この争い、勝つ方法…教えるっす。
川野 …なんで、そんなに私に肩入れすんのよ。
井上 え？
川野 初対面でしょ。…今日。
井上 うーん。

分かり易く悩む井上。

井上 なんとなくっす。
川野 え？
井上 こういう理由ってなくないっすか？…まあ強いて言えば、川野さんと仲良くしたいなーって。…あと川野さんの方が彼氏できなそうだし（小声）。
川野 仲良くって…
井上 えーだってしたいっすよ。あんな自由な岡本さんと 4 年も隣人やってるんでしょ？それでこの関係性でいれるって…憧れるっす。

井上は普通に憧れの目をしているが、川野にはその目が違うものに見えた模様。

川野 いや…別に期待してるような関係性じゃないよ…？…そんなレズィな関係性では…
井上 それでは!早速ご教授するっす。
川野 え？
井上 まず必勝法①!…ガツガツ行く。
川野 ガツガツ?…それって関係性壊れるんじゃ…
井上 そんなことないっす!案外人間、押しの弱い生き物なんす!だから!
川野 えー…
井上 必勝法②!…甘えてみる。
川野 あ、甘える？
井上 だから、こんな感じっす!

梯子の上に乗る、セクシーポーズの井上。

井上 今夜は…帰りたくない。
川野 いやいやいや。
井上 これは鉄板っす!

川野　　もう大体魂胆が分かってきたんだけど…
井上　　なんすか魂胆って!これで相手もイチコロに…
川野　　ほら!私とあいつをレズィに…
井上　　レズィ?何の話っすか!必勝法③!
川野　　もういい!!…もう自分でどうにかするから…
井上　　ああ…そ、そうっすか。

暫くの沈黙の後、401号室のベランダに戻る井上。

井上　　ま、これは男関係は勿論、友人関係でも一緒っす。ガツガツすること!甘えること!
川野　　男関係でも…
井上　　そうっす。…あれ?

井上、ベランダにあった本に気づく。

井上　　あれ…これ。
川野　　ああ、それは岡本から…
井上　　「絶対失敗しない恋愛術」…これ、私が岡本さんにあげた本っすね。
川野　　え?
井上　　私、こういう本好きなんです。で、読んだら岡本さんにあげてるんす。
川野　　おお、ちょっと待て…てことは渡した本を…また私に…
井上　　何の話っすか?
川野　　いや、ごめんごめん。なんでもない。
井上　　丁度良かったっす。後のことは大概この本に載ってるんで、参考にしてほしいっす。それじゃあ私、あんまり時間かかると岡本さんに怒られるんで。

梯子を使い、402号室に戻る井上。

井上　　ここで失礼するっす。…ではでは。

閉まる402号室のベランダのドア。

川野　　風の如くだったな…本か…こういうハウツー本とか自己啓発本って苦手で…

本を読み始める川野。ページをめくるスピードが速くなる。

川野 …面白いなこれ。…ちょ、中入って見よ。

部屋の中へと入る川野。

川野 男はロリかわな服に弱い…か。

ピシャリと閉める窓。

セミの声と風。再びおとなしい平穏な日々が…と思いきや。

「仔象の行進」が流れる。スポットが410号室に入る。

梯子がかかる男子寮410号室。ベランダに降り立つプロレスマスク姿の稲田。

稲田 よし…ばれてないな…塚本!来い!

塚本 へいっ!

稲田 けがは大丈夫か。

塚本 なんとか。

稲田 そうか。良かった。

410号室のベランダに降り立つ塚本。

稲田 よし、それではこの垂れ幕を…

垂れ幕をガムテープで固定しようとする稲田。

垂れ幕には「チェリー万歳」と書いてある。

塚本 準備完了でゲス!稲田さん!

稲田 よくやった塚本!これで計画の最終段階まで来たぞ!

久保田、ドタドタと出て来る。スポット解除。

久保田 ちょ、何騒いでんだよ!あ、まずどっから入ってき…

稲田 私の名前はチェリッシュデビル!お前の部屋を乗っ取りに…

久保田 稲田君でしょ。

稲田 …え?

久保田 稲田君。

稲田 ち、違う、私はチェリッシュデビルでチェリー星からやってきた…

久保田 さっき『準備完了です!稲田さん!』って言われてたよ。俺にアポとってから来てるしね。

稲田 ぬう…

塚本 私の名前はチェリッシュデビルジュニア!チェリー星の皇太子で…

久保田 塚本君でしょ。名前呼ばれてたから。それより、その怪我どうしたんだよ。なんで葉っぱが…

塚本 ぐぬう…植え込みに…落ちた。

久保田 なんだよそれ…ちょっと、悪ふざけならやめろよ。俺も暇じゃないんだか…

稲田 悪ふざけなどではな—い!…断じて、悪ふざけなどではない…

久保田 …え?

稲田 貴様のようなやつに…我々の気持ちが分かってたまるか……久保田、私の本当の姿は知っているな…

久保田 稲田君だろ?

稲田 ああ…そう呼ばれていたこともあったな…

久保田 現在進行形だよ。

稲田 そして、この私が…どこの学部にも所属しているか知っているか?

久保田 え…学部?…ああ、前聞いたけど、覚えてないや。

稲田 工学部だ…

久保田 え?

稲田 工学部だ—!!男女比率極端の象徴的学部工学部—!!!

塚本 僕も工学部でゲス—!!

稲田 男女比発表—!!!

久保田 うるさいな!!

稲田 1対…9!!…こっちが女な。

久保田 それはいいけどさ。

稲田 で、お前は。

久保田 え?

塚本 貴様の学部!…言うでゲス。

久保田 彼の変なキャラはなんなんだよ。

稲田 俺もいまいち分かってない。…いいから…お前の学部!言うんだよ、言うでゲス。

久保田 あ—分かった分かった。……外国語学部。

稲田 学科は?

久保田 …フランス語。

稲田・塚本 いやいやいやいや!!!

久保田 なんだよ!なんだよ、お前ら。

稲田 ボンジュール!マドモアゼル。
久保田 なんでフランス語なんだよ。マドモアゼルじゃねえし。
塚本 イッヒリービディッヒ。
久保田 それはフランス語でもねえし。
稲田 貴様は!…女子の多い学部に入り!女からモテまくり!我々チェリーボーイを侮辱してる存在なのだー!
久保田 だからうるせえな!人んちなんだから静かにしてくれよ…な?
稲田 そこで私たちが考え出した作戦が…!
久保田 だからうるせ…
稲田 久保田家乗っ取り作戦!!!

稲田、なぜか拍手。塚本も拍手。客に拍手を求める?

稲田 小鳥さんたちの拍手も頂けたところで作戦の説明に入ろう。塚本君、例の物を。
塚本 はい、でゲス。
稲田 震えて待ちあがれ。
久保田 待ちあがれって…まず乗っ取りって…

塚本、やたら分厚い PC を取り出す。

久保田 工学部なのに PC 厚っ!
稲田 さあ、塚本。

PC を操作し始める塚本。ものすごい早い。

塚本 まずこの寮の建物係数 2.3 をかけて、距離質量 7.0 を 1.0 と仮定し、ガウス積分を微分して…
稲田 うんうん…
塚本 空気抵抗を差し引きして考えると…

チーンという効果音。

塚本 この家をもっと女子と交流が図れる部屋だと判明したでゲス。
稲田 というわけだ。久保田君、この部屋から立ち退いてくれ。
久保田 なんでだよ!
稲田 君には代わりに、僕の部屋。つまり男子寮 401 号室を与えよう。隣になんの

建物もないから、景色が綺麗だぞ? (カッコつけて)

塚本 この部屋は女子寮に一番近い。だから、そこに住む 401 号室の女性と交流が
図れるでゲス。

久保田 そんな単純な…でも、どうせ男子寮と女子寮で建物が違うんだから、あんまり
交流は…

稲田 つまり!!…現代版ロミオとジュリエットだな。寮という国境に阻まれる 2 人…
それで愛し合いたいと望んだ二人の愛は、往々にして燃え上がる……分かって
て…くれたね?

久保田 分かんねえよ。

稲田 つまりはここで花火が見たいということだ!

急に小芝居を始める稲田。

稲田 花火、綺麗ね。ああ、綺麗だな。あなたの元に行きたいわ…。それは出来ない、
なぜなら君は敵国だからだ!…うーんロミオとジュリエッ!!

久保田 うるさいな…で?彼は?

稲田 え?

久保田 ほら、横の。

稲田 ああ。今回の作戦の協力者だ。

久保田 協力者って…彼に利益はあるの?

稲田 ああ、勿論あるとも。もし、私がこの部屋を征服し、ある風が強い日などに、
女性モノのパンティーやブラが飛んできた場合…優先的に販売する!

塚本 ゲスー!

久保田 犯罪だろ、それ。

塚本 ゲスー!ゲスゲスゲスー!

久保田 うるさいないな!なんなんだよ、もう。

稲田 久保田君!…部屋を、譲ってくれ。

握手を求める稲田。それを弾く久保田。

久保田 譲らねえよ。

稲田 友好の握手を…拒否した。

久保田 そりゃそうだろう。特に仲良くもない男から急に部屋を譲れって言われて、はい
はいと譲る男がどこにいるんだよ!

稲田 仲良くないだと…まあ…確かにそうか。では、自己紹介をしよう。

久保田 いいよ、もう…

稲田 私の名前が稲田守。21 歳。守は普通に何かを守るの『守』だな。そしてこいつが…

塚本 どうも塚本駆でゲス。よろしくでゲス。

久保田 ゲスゲスうるさいな…あ、でも下の名前同じなんだ。俺も下の名前、カケルなんだよ。結構珍しい名前なのに…

稲田 やめろう!!!…急に仲良くしようとするな…

久保田 いや、いいだろ、それは別に。

稲田 我々のような人種は…そういったことをされてしまうと…すぐに心を開いてしまう…

久保田 いいじゃねえかじゃあ。…もうとりあえず…ここで話すのもなんだから、中に入って。

稲田 なるほど。……ヤルタ会談ということか。

久保田 そんな大げさなもんじゃねえよ。

靴を脱ぐ稲田と塚本。その間に久保田は梯子を片付ける。

塚本 じゃあ僕、ソビエトやるでゲス。

久保田 ったくなんで梯子で入ってくんだよ。

稲田 今、流行りの侵入方法だ。

久保田 は？

扉が閉まる 410 号室。

402 号室から出てくる井上。

井上 岡本さーん!このキャンプイス、ここらへんでいいっすかー?

岡本 うんー!そこらへんでいいから、置いといて!

キャンプイスを置き、それに座る井上。

井上 …座り心地悪。

出てくる岡本。

岡本 あ、座ってる。

井上 お先でーす。

おつまみやお酒を机に置いていく岡本。

岡本 はい、どうぞ。

井上 あざーす、岡本さん。

岡本 花火大会まで、あとどれくらいだっけ？

井上 あと…1時間くらいっすね。8時からなんで。

岡本 そっか…

静寂が包む。風が吹く。

井上 静かっすね…

喋らない岡本。酒を飲んでいる。

井上 …なんか喋らないんすか？

岡本 …「なんか」。

井上 いや、そういう意味じゃなくて…

少し臍を曲げている様子の岡本。

少し焦っている井上。

井上 きよ、今日…日落ちるの遅いっすよね…夏らしい……あ、先輩なんか、夏らしい体験とかしてます？もう。

岡本 夏らしい…体験。

井上 そうっす!夏らしい体験。海とか!行きました？

岡本 …この間さ。

井上 はいはい!

岡本 足、怪我してさ。

井上 足を!はいはい。

岡本 処置しなかったんだけど。

井上 はい。

岡本 …傷口からさ。

井上 はい!

岡本 …膿が出たよね…

井上 あ、膿。…そっちの…

気まずい雰囲気。

井上 あの一岡本さん。
岡本 …どした？
井上 …帰っていいっすか？
岡本 …ダメ。
井上 ええ…
岡本 あんたが来たいって言ったんでしょ。花火。
井上 いや、そうっすけど…この1時間気まずさに耐えきれるか…

気まずい雰囲気。

井上 あ、そうだ…悩み聞きましょうか？
岡本 え？
井上 いや、先輩の。力になれるかどうか、分かんないっすけど。
岡本 あんた、関係性も何もわからないでしょ。
井上 いや実は…さっき、こっそり川野さんと話させてもらって…
岡本 …生意気な後輩。
井上 いやそれは…でも、この状態になった先輩、ダントツで面倒なんですもん。…
 (小声) まあ、さっき川野さんに肩入れしたのもそれが理由なんすけど…
岡本 なんか言った？
井上 いや、なんでも。…何があったんすか？
岡本 …ま、恋愛関係よ。恋愛関係。
井上 あーやっぱり…私キャバオーバーしないかな…
岡本 すぐそこに男子寮あるでしょ？その一番手前の部屋に住んでる男。それが…
井上 あ、もうもう！もう分かったっす。…やっぱりそうなんすね。

スポットが入る。岡本は静止。

井上 男を取り合ってるんっす！これはドロドロするっす！

スポットが元に戻る。

岡本 やっぱり？
井上 ああ、いや。大体勘で分かるっす。
岡本 ほんと？あんたすごいね。

井上 はい、そりゃそうっす。女子校ですし。
岡本 ああ、なるほど。関係あるんだ。
井上 もちろん。
岡本 …ま、私もさ、頑張れって言ってるのよ？
井上 え？誰に？
岡本 川野に。
井上 あ、応援してるんですか!?岡本さん。
岡本 そりゃそうでしょ。
井上 ええ…いや、むしろすごい邪魔をしてるのかと…
岡本 なんでそんなこと…。
井上 いや、なんとなく岡本さんの性格的に…
岡本 私の事どんだけ嫌な奴だと思ってるの。ねえ。井上。
井上 狙った獲物は逃さない的な…
岡本 え？
井上 いや、なんでもないっす。
岡本 ま…でも、勇気が出ないからね。あいつは。

急に戻って来る岡本らしさ。それに安心する井上。

井上 え、そうなんですか?川野さん。
岡本 うん。結局踏ん切りがつかずに、右往左往。
井上 あ、そうなんすかぁ!
岡本 そうそう。やっぱり勇気って大切じゃない?
井上 そっすねえ、勇気は!
岡本 それが出ないんじゃどうもこうも…ねえ。
井上 そうっすよねー!!

401号室のベランダが開く。

川野 聞き捨てならないわね…その言葉。

レースカーテンに立つ川野の姿が透ける。

井上 え、あ、いる。
川野 …勇気が出ない…女。
井上 すごい薄っすら見える…

川野 意気地なしのエターナル彼氏なしガール…?
井上 そこまでは!川野さん、岡本さんもそこまでは!
川野 見せてやろうやないけ!
井上 川野さん!
川野 おう、岡本覚えとけ。…私は、今日中に、男に告白して、彼氏を作って見せるわー!!

カーテンに移るバーサク状態の川野。

岡本 はいはい。無理無理。そんなの無理です。何故ならあんたには勇気がないから。
川野 なんだとこらーやんのかー!
岡本 やってやろうか、え?

梯子に乗ろうとする岡本を制す井上。

川野 とりあえず覚えときんしゃい…
井上 どこの方言?
川野 彼氏…今日中に作ったるけんのう!

閉まる 401 号室のベランダのドア。

井上 か、川野さん…
岡本 まったくあいつ…
井上 ちょ、岡本さんも落ち着いて…まあ焚きつけたの私なんですけど…

酒を煽る岡本。缶の中身が空になる。

岡本 …やっぱり3本じゃ足りなかったか。…井上、私、ちょっと買い出し言ってくる。
井上 ああ、じゃあ私も…
岡本 あんたは留守番お願い。…川野がいつバーサク状態でウチに乗り込んできてもいいように。
井上 おお、なかなかきっちー役割っすね…
岡本 よろしくね。

中に戻る岡本。それに気づく井上。

井上 あ、私もチャイム鳴らされたら対応できるように中に…

中に戻る井上。

静かになるベランダ。すると男子寮 410 号室から 3 人の男が顔を出す。

久保田 なあ、だから、とりあえずこの垂れ幕だけでも剥がしてくれよ。近所迷惑になるからさ。

稲田 だ一め一だ。ここを本拠地とするために、この垂れ幕は絶対必要なものだ。

久保田 本拠地って…

塚本 そんなの無理でゲスねえ。

久保田 …なんなんだよ、こいつのキャラは本当に。

稲田 俺も分からん。…とりあえず、部屋の中に戻れ。

久保田 なんなんだよ…

口々に喋りながら、男子寮 410 号室に戻る、男 3 人衆。

すると、401 号室から手だけが伸びてくる。CD を替える。

アイドルソングが流れだす。

昔のアイドルみたいな恰好をしている川野。

川野 ロリかわな服、パチパチお目目。…少し大人目のリップ…これで吠え面かかしてやるからな、岡本ー!!聞いてんのかおーい!!お前より先に彼氏作ってやるからなー!!

402 号室に向かって叫ぶ川野。CD を消し、元の Disc に戻す。一回落とす。

その後、お祈り状態になる川野。

川野 久保田君来てください…久保田君、久保田君。恋愛テク①!果報は寝て待て!…久保田君…久保田君…いやカケル君!

井上、402 号室から出てくる。

井上 今、岡本さんは買い物に行ってますけど何事…

川野の姿を見て、愕然とした表情になる井上。

川野 かける君…かける君…

男子寮 410 号室から塚本が出てくる。

塚本 いやーこのゲスキャラを保つのも大変だな…わけわかんないし。

川野 カケル君!?

川野は下手側を向いたまま。

塚本 …え、カケルですけど…あ、さっきの…うわすごいカッコ…

川野 カケル君!…で合ってる?

塚本 いや、合ってますけど…

川野 …よかった。…今から…言うこと…驚かないで聞いてね。恋愛テク②・言う時は直球に!

塚本 え、なんでしょう…

川野 私…あなたのことが…好きです!!

塚本 え!?僕っすか!?!…え、どのタイミングで!?落とした時かな…

川野 いつから好きになったわけじゃない。いつの間にか好きになってたの…私の気持ち…受け取って…!

塚本 いや受け取ってと言われましても…

川野 あ、そうだ。

塚本 聞いてます?

川野 私ね、歌作ったの。…聞いてもらえる?恋愛テク③・お願いをする!

塚本 いや…いいですけど…

川野 …ありがとう。…それでは聞いてください。「Oh my baby, You my baby」

塚本 名前ださいな。

川野 それでは聞いてください。

Oh my baby, You my baby を歌う川野。完成度低め。歌詞は別途参照。

川野 受け取って!

塚本 いや、受け取ってと言われましても…いやその…

川野 好きです!

塚本 いやそれは…

川野 本当に好きなんです!

塚本 分かりますけど…

川野 本当に…大好きです!……私の気持ちを受け取って…

塚本の方を向く川野。

川野 ってギャー!!デージャーブー!!

ゴミ袋などを投げる川野。

塚本 うわ、ちょ、なんすか!なんすか!

川野 Please get away! Please get away!

塚本 なんなんすかもう!!

410号室に戻る塚本。

川野 いやー!全然違う…

井上に気づく川野。

川野 ギアアアアアー!

川野、衝撃の後、自分の恰好を顧みて、俯く。

井上 ふ、振られたんすか…?

川野、無言で俯いたまま。

川野 どっから見てた?

井上 …全部っす。

無言の間。

井上 …いくら飢えてるって言ってもあんな男を選ぶなんて…

川野 いや、選んでは…

井上 もしかして…あの男っすか!?

川野 え?

井上 あんな男を岡本さんと!?

川野 いやだから…
井上 いやなかなかまずめのセンスを…いや、逆に今だとああいうのが流行りなのか?なんなんだ?
川野 ちょちょ、何の話してる?
井上 え?…だから、川野さんが岡本さんと奪い合ってる男の話…
川野 男!?奪い合う!?
井上 え、そうでしょ?岡本さんと…一人の男を…
川野 いや違う違う違う。え、どこで勘違いしたの!?
井上 え?違うんすか!?
川野 違うってば!
井上 あら…私どこで…え、じゃああの男の人は、川野さんが好きなだけ?
川野 それも違う!…私が好きなのは、あの部屋に住む別の人。
井上 あ、別の人。あの人住人じゃないんすね。
川野 そう…
井上 ん?…え、じゃあじゃあ!

梯子を使って 401 号室にやってくる井上。

井上 岡本さんと喧嘩してる本当の理由ってなんなんすか!?
川野 あ、中で岡本に聞かなかつたんだ。
井上 聞けないっすよ～こっちは恋恋慕だと思ってるんすから…で、なんなんすか?
川野 え?何を?
井上 何度も言わせないでください!岡本さんと喧嘩した理由っす!

少し言いあぐねる川野。興味津々の井上。

井上 なんすか?…なんなんすか?
川野 まあ一応…恋愛関係は恋愛関係のこと。
井上 あ…じゃあやっぱり、男を取り合って…
川野 それは違う…。…私が悪いの。結構酷い事言っちゃって。
井上 …酷い事…っすか?
川野 うん…
井上 どんなことを…
川野 ……ひどいこと。
井上 …恋愛関係のことで。
川野 うん……岡本に彼女ができない理由は、こーこーこーだからだ…とか、結構。

井上 …なんでそんなことを。
川野 (遮るように) 悪気はなかったの!…悪気はなかった…ただいつものノリで、
言っちゃっただけ…
井上 …。
川野 ごめん…井上さん。
井上 …いや、別に謝ることは……結構、恋愛関係はタブーだったんですか?二人の
間で。
川野 いや…そんなことは…でも…やっぱりそういうコンプレックスはあったと思
う…
井上 コンプレックス?…彼氏がいないことに対する?
川野 うん。…ていうか、恋愛したことがないのに対する。
井上 あーなるほど…そういえば、岡本さんも無いって…川野さんも?
川野 むしろ仲が良くなったのはそれが理由。…案外脆いよね。人間関係って。
井上 そう…っすね。

二人の間に静寂。ひぐらしの声。

川野 …子供の頃はよかったんだけどね。…仲が良い子と何か言葉が間違っ…喧
嘩しちゃったとしても…ごめんなさいって言えば、また仲良しになれてた…
でも今は…中途半端に大人になった今は、変なプライドが邪魔して…謝れな
くなって……結局、ひとり。
井上 大人…っすか。…22歳。
川野 うん…明日でね。周りの友達なんて働いてる子もいるし…なりたくなんてな
いけど…大人にならなきゃいけないのかな……音楽かけていい?
井上 あ、いいっすけど…

ラジカセの電源を入れる川野。

THE BLUE HEARTSの「夕暮れ」が流れる。

しっかりと音楽を聴く。

川野 …井上さんも覚えておいて。
井上 え?
川野 いつか来る。…もう子供じゃいれないなあって時があるってこと。
井上 …いやっすわ。それ。
川野 そうでしょ。…それに、小さな頃憧れてた大人になんて、まだ全然なり切れて
ないのに…まだ…大人になんて…なりたくない…

井上 …すごい恰好で言ってますね。

その曲に聞き入る川野と井上。照明は暗くなり回想シーン。

「夕暮れ」は流れたまま。

明転すると回想が始まる。

それは川野・岡本・久保田が入居時からのもの。

岡本と川野の最初の出会いや恋に落ちることも回想される。

再びラジカセ音源に変わる「夕暮れ」。

舞台は明転し、今に戻る。

井上 ま、とっくに夕暮れなんて終わってるんですけどねー。花火大会まであと 30 分もないですし。

川野 来年見る花火大会は…どんな風に見えるのかな…

井上、川野の方を見る。川野も笑う。

井上 川野さん。青春って、案外短いっすよ。

川野 …年下に言われたくない。

井上 うへえー。いてーとこ突かれた。

川野 ああー…私もスーツ着てんのかなー。来年の今頃。

笑う 2 人。

そこに 402 号室から鍵の音が聞こえる。

井上 あ!岡本さん、帰ってきたっぽいっす!

川野 ああ。

井上 川野さん…どうするっす?仲違いしたまま…青春を…?

井上、少し意地悪な表情。

川野 …謝る。

井上 …それで正解っす。ではでは!

梯子を使って 401 号室に戻る井上。

後ろを押しながら岡本を連れてくる井上。

岡本 ちょ、何?何?

2人っきりにするために、井上はそのまま窓を閉め、カーテンの隙間から覗く。

岡本 ちょ、井上!

締め出される岡本。川野に気づく。

岡本 …何?…何の用?

川野 いや…その…別に…

井上 川野さん!

ガラス窓に食らいつくような状態になっている井上。歯茎むき出し。

岡本すら少し引いている。川野はそれを見て、うなづく。

川野 …ごめん。岡本。……酷いこと言って。悪気はなかったんだけど、でも…

岡本 ごめん。

川野 え?

岡本 いや、私も悪かった。…後半戦はあんたを焚きつけるようなことばかり言ったし。…結局傷つけたし…第一、私のキャラなら、あんなの笑って返さなきゃいけないしね。ふざけんな!そこまで悪くないわ!って。

川野 いやそんなことは…

岡本 ……大丈夫。素直に謝ってるし、謝られてるから。

少し笑顔の二人。

岡本 ……ねえ。…ひとつだけ突っ込んでいい?

川野 …何?

岡本 なにそのカッコ。

川野 え…こ、これはその…男受けする格好を…

少し微笑みが漏れ出す両者。

岡本 普段あんなにアイデンティティありますみたいな恰好してるくせに…本にすぐ影響されて…恰好変なのあんたじゃん。

川野 う、うるさいな。…私だって悩んでるんだよ。…どんなのが男受けする格好な

のかって。
岡本 …ミートゥー。

笑いあう二人。頃合いを待って、川野が出てくる。

川野 いやーよかったっす。よかったっす。私、大活躍!

三人とも大団円。

井上 とりあえず、治まってよかったっすけど…

岡本 あ、そうだ川野。

川野 なに?

岡本 …言ったよね…告白して…今日中に彼氏作るって…。今日、作ってよ。

川野 え!?その話はもう…

岡本 確かに終わらせた。喧嘩してた段階のはね。これは友達としての話。…私たちはもう4年生。…就職が決まったら、この寮を出ることもあるかもしれない。このまま久保田君に何も言わないままでいいの?

啞然とする川野。岡本は梯子を渡ってくる。

川野 急展開すぎるって…それは急展開!今、仲直りしてよかったねーなのに。

岡本 花火と男と女。今日はこれ以上ない組み合わせ!…ここで見る花火も、今年で最後なんだよ?

川野 え、ちょっと…

岡本 久保田くーん!ちょっとこの子が話あるんだってー!出てきて…

川野 ちょ!やめてよ!岡本!

男子寮 410 号室から出てくる久保田。

岡本 あ、来た。

ベランダの下に隠れる岡本。

川野 あ、ちょっと岡本!

久保田 あのー…

川野 はいっ!!

久保田 …名前を呼ばれたみたいなんですけど…
川野 いや…その…
岡本 いっけー! (小声)
井上 いっけー! (小声)
川野 あの…その……く、久保田君…
久保田 はい…
川野 私、女子寮の 401 号室に住んでる、川野って言います…あの…その…確かに私は粗暴で…強欲で…友達を転落死させようとしたり、生クリームつけて1日過ごしたりするような女ですけど…でも…
久保田 あの一。
川野 …はい?
久保田 いつもエントランスで、猫に餌あげてる人ですよ?
川野 え…?
久保田 あの三毛の。野良猫の。
川野 あ…それは…
岡本 いっけー!! (小声)

花火があがる音。全員そっちの方面を見る。

川野 …え。
岡本 ちいっ!このタイミングかよー!!

410 号室から出てくる稲田。

稲田 あー!!もう花火あがってんじゃん!!…チクショー。俺の長年の夢が…花火い…
花火い…

いまだに動かない、久保田と川野。

塚本 交渉の結果…敗訴!

敗訴の紙を掲げる塚本。

稲田 勝ったときのやつだろ、それ。
井上 あー…ダメだったか…あ、そうだ!ちょっとそこの男の人!

稲田、周りを見渡す。

稲田 お、俺?

井上 他に誰がいるんすか!一緒に花火見ないっすかー?酒もつまみもあるっすよ!

止まっている2人を見て、岡本、少し微笑んで。

岡本 おいでおいで、梯子も用意したから。

稲田 お、まじっすか!?いいんすか!?これは夢?夢?

ものすごい勢いで頬を引っ張る稲田。

塚本 おお、稲田さん!結果的に女子と花火を見るという目標達成ですね!あ、ゲスね!

稲田 ああ!しかも国境はなしだ!

移動を開始する塚本と稲田。塚本が先行。

稲田が中心に来たくらいで久保田に話しかける。

稲田 久保田、行かないのか?…あ、てか行こうぜ。とりあえず謝るから。

久保田 ああ、そうだな。別に謝るのはしなくていいけど。

井上 あ、やっぱり意中の人もきたっす…やっぱり私って大活躍…!

喪失状態の川野に声をかける岡本。

岡本 ほら、あんたも。402 においで。

川野 あ…うん。

移動する全メンバー。402 に集まる。入りきれないメンバーは部屋の中へ。

みんな花火を思い思いに見ている。

なにやら喋っているが、もう聞き取れない。

音楽と共に花火の音もフェードアウト。同時に照明がフェード暗転。

朝の鳥たちの声。照明がフェード明転。

目覚める川野。402 号室のベランダにいる。

川野 …え!?

体の隅々を確認する川野。

川野 着衣の乱れはなし…あ、ちょ、岡本一!岡本一!

402号室に向けて呼びかける川野。

岡本 なぁに一。

401号室から出て来る岡本。

びっくり仰天の川野。

川野 ちょ、なんであんた、私の部屋にいんのよ!

岡本 それはお互い様でしょ。そっちの部屋、井上寝てるから、静かにしてあげてね。

川野 お互い様って…私はここでお酒を飲んで、そのまま寝ちゃって…あ、そうだ!

岡本、乱れはない!?着衣の乱れ!

岡本 ないない。第一に男どもは寝る前に男子寮に返したし。

川野 あ、そうなんだ…それならよかった…

鳴き始めるセミ。それに気づく川野。

しばしの静寂。

岡本 いやーにしても…昨日のあんたは荒れてたねー。

川野 え?

岡本 急に飲めない酒をあおりだしたかと思ったら、彼氏をよこせーだの、私の歌を評価しろ!就職なんてしてたまるかーだの。

川野 え、うそでしょ!?!うそでしょ!?!

川野を見つめる岡本。

川野 …ほんとなんだ…

岡本 残念ながら。

川野 え、もしかして!…彼氏よこせって…くくく久保田君の前で…

岡本 ああ、そこはノープロブレム。

川野 え?

岡本 彼、お酒弱いみたいだね。ロングの缶チューハイ1本でバタンキューよ。あんたが完全に出来上がった時には、寝るからってもう部屋に帰ってた。

川野 良かったー…いや、良くはないんだけど…良かった…

再び静寂。

川野 結局、告白できなかった。

岡本 …そうだねー。約束やぶり。

川野 …だいぶ岡本にも、甘えちゃったし。

岡本 …え？

川野 ごめん。

岡本 いやいやいや。謝ることじゃないって。別に私だってあんたに甘えることあるんだからさ。

川野 いやでも…

岡本 良いって。…あんた自分抑えすぎだもん。昔からのクセか何か知らないけど。…自分のやりたい事、最後まで言わないし。我慢ばかり。

川野 …そうやって育ってきたから。

岡本 だろうけどさ。…大人になんかなったら、もっと我慢しなきゃいけないこと増えるんだよ？それなのに今のうちから我慢ばかりしてるんじゃ……今の時期くらい、我儘に…甘えてていいんじゃない？

川野 岡本。

岡本 何？川野。

川野 …あんたが…友達で良かった。

岡本 え？

川野 いや…別にそんなに深い意味は。

岡本 …きも。

川野 (溜息) …もう2度とあんたは褒めない。

岡本 え、だって。友達なんて。むずがゆいむずがゆい!…ただの隣人だから。…あ、隣人愛ってやつ!?!…繋がったねー。

川野 いやいや、繋がってないから。

岡本 いやー大人かー。なりたくねー!!…まだ学生気分でいたい…大学院でも行こうかな。2年だけ。…完全にモラトリアムだな。私。でもなんかモラトリアムって必殺技みたいだよ。モラトリアム波ドーン!!みたいに…

川野 シンガーソングライターになる。

岡本 え？

川野 私…シンガーソングライターになる。曲書いて、いろんな人に聞いてもらって…それで…生きていく。

岡本 真横に超巨大なモラトリアムが。……でもいいんじゃない?…私、あんたの曲

好きだし。

風のかける音。

岡本 …ほら、シンガーソングライターのモラトリアム川野さん。
川野 そんな芸名じゃないわよ。
岡本 朝ごはん作ったから。おいでおいで。
川野 おいでって、そっち私の部屋だから。それに何、その名前。
岡本 細かいこといいじゃーん。私が朝ごはん作ることなんて、ハレー彗星並みに無いわよ?ほら、岡本と岡本。
川野 つまみじゃん、それ。
岡本 いいからいいから。あ、あとホールケーキも食べたいな。昨日投げて食べれなかったし。ははは…

401号室に戻る岡本。

川野、少し笑う。一旦402号室の中に戻ろうとする。
しかし川野、梯子に近づく。

川野 ちょっとやってみるか…

梯子に足をかけ、移動を開始する川野。やはりぎこちない。ガニ股。

川野 よっと…よっと、うわこれ怖…

ベランダの開く、男子寮410号室。中からは久保田。

川野 え。
久保田 あ、おはようございます…昨日はどうも。
川野 ど、どうも…
久保田 いい天気ですね。…結局雨は降らなかったですし。
川野 そ、そうですね。

空を眺める久保田。静止したままの川野。

久保田 よし、それじゃあ僕、サークル準備があるので。…失礼します。
川野 あ、そ、そうですか…

久保田 はい。

ゆっくりとお辞儀をする久保田。それに合わせて川野もゆっくりとお辞儀。
ベランダの窓を閉める久保田。
しかしすぐにもう1度出て来る。

久保田 あ、そうだ。お隣の岡本さんから聞いたんですけど…

川野 はい？

久保田 誕生日おめでとうございます。

川野 …え？

少し咳払いする久保田。

久保田 あと…スカートの中…見えてますよ?……失礼します。

自分のスカートの中を覗き込む川野。
顔をあげて、しばらく静止した後、移動し、401号室のベランダに降り立つ。

川野 私の恋…また終わったー!!!

終わりの音楽がかかる。

崩れ落ちる川野。

その声に気づいて出て来る岡本。会話の内容は聞き取れないが、何かを話している。

何の騒ぎだと402号室から、眠そうな井上が出て来るが、あまりの事態に驚愕。

梯子を使って、401号室のベランダへ。

ゆっくり暗転するステージ。阿鼻叫喚の女3人衆。

音楽が大きくなり、そのまま終演。

カーテンコールでは、402号室のベランダに岡本と井上、401号室のベランダに川野。男子寮410号室のベランダに久保田と稲田と塚本。